

理 事 会 次 第

令和7年2月27日(木)13:30～

岡山建設会館4階ホール

[協議事項]

[ページ]

1. 岡山県建設政治連盟並びに自由民主党岡山県建設業支部の
決算及び予算について…………… 1
2. 参議院議員選挙（岡山選挙区）立候補予定者「小林孝一郎」氏の
推薦について…………… 7
3. 会員の入会及び変更の承認について……………10
4. 協議員候補の推薦について……………12
5. 昭和百年記念昭和天皇記念館大規模刷新・維持事業への寄附について…14

[報告事項]

1. 陳情への回答について……………17
2. 令和7年度予算等陳情スケジュールについて……………20
3. 令和7年度陳情シートについて……………23
4. 令和7年度土木部関係当初予算等について……………30
5. 下水道施設の緊急点検要望について……………32
6. 県・市町村発注小規模工事の歩掛の実態調査について……………35
7. 少額随意契約限度額の引き上げについて……………37
8. 会務報告……………42

[その他]

1. 「けんざか氏を応援する会」について……………43
2. けんざか茂範氏の政治活動への更なる支援について……………45

[今後の予定]

・ 4月24日(木)14:00～ 理事会 岡山建設会館4階

岡山県建設政治連盟地区代表者会議案

1.令和6年度収支報告の承認について

令和6年度収支報告書

自 R6. 1. 1

至 R6. 12. 31

(単位:円)

収入の部

項 目	決 算 額	予 算 額	差 異	備 考
会 費	1,626,000	1,653,000	△ 27,000	3,000円×542名
その他の収入	770	54	716	預金利子
前期繰越金	6,866,349	6,866,349	0	
合 計	8,493,119	8,519,403	△ 26,284	

支出の部

項 目	決 算 額	予 算 額	差 異	備 考
経常経費	772,357	50,000	722,357	消耗品費、印刷代、室料他
政治活動費	1,521,482	8,469,403	△ 6,947,921	
合 計	2,293,839	8,519,403	△ 6,225,564	

翌年度への繰越額

8,493,119円－2,293,839円＝6,199,280円

岡山県建設政治連盟地区代表者会議案

2. 令和7年度収支予算の決定について

令和7年度収支予算書

自 R7. 1. 1

至 R7. 12. 31

(単位:円)

収入の部

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
会 費	1,626,000	1,653,000	△ 27,000	3,000円×542名
その他の収入	770	54	716	預金利子
前期繰越金	6,199,280	6,866,349	△ 667,069	
合 計	7,826,050	8,519,403	△ 693,353	

支出の部

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
経常経費	780,000	50,000	730,000	消耗品費、印刷代、室料他
政治活動費	7,046,050	8,469,403	△ 1,423,353	
合 計	7,826,050	8,519,403	△ 693,353	

令和6年度 岡山県建設政治連盟会員数

地 区 名	岡山東	岡山西	西大寺	和気	玉野	倉敷	児島	吉備	浅口	笠岡	井原	矢掛	高梁	新見	真庭	津山	美作	美防災	建部	合計
令和6年度 会員数	39	49	31	26	18	55	21	17	24	22	15	10	29	30	33	87	7	7	22	542
令和5年度 会員数	40	47	34	27	18	49	23	18	27	21	15	10	29	31	35	90	7	7	23	551
増減	△ 1	2	△ 3	△ 1	0	6	△ 2	△ 1	△ 3	1	0	0	0	△ 1	△ 2	△ 3	0	0	△ 1	△ 9

自由民主党岡山県建設業支部地区代表者会議案

1. 令和6年度収支報告について

令和6年度収支報告書

収入の部

自 R6. 1. 1
至 R6. 12. 31 (単位:円)

項 目	決 算 額	予 算 額	差 異	備 考
党 費	156,650	157,300	△ 650	
その他の収入	41	2	39	預金利子
前期繰越金	455,602	455,602	0	
合 計	612,293	612,904	△ 611	

支出の部

項 目	決 算 額	予 算 額	差 異	備 考
経常経費	138,484	40,000	98,484	消耗品費、室料他
政治活動費	50,000	572,904	△ 522,904	
合 計	188,484	612,904	△ 424,420	

翌年度への繰越額

$$612,293\text{円} - 188,484\text{円} = 423,809\text{円}$$

自由民主党岡山県建設業支部地区代表者会議案

2. 令和7年度収支予算について

令和7年度収支予算書

収入の部		自 R7. 1. 1 至 R7. 12. 31			(単位:円)
項 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考	
党 費	156,650	157,300	△ 650		
その他の収入	41	2	39	預金利子	
前期繰越金	423,809	455,602	△ 31,793		
合 計	580,500	612,904	△ 32,404		

支出の部

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考	
経常経費	140,000	40,000	100,000	消耗品費、室料他	
政治活動費	440,500	572,904	△ 132,404		
合 計	580,500	612,904	△ 32,404		

令和6年度 自由民主党建設業支部党員数

	一般党員	家族党員	合計
本部経由	95	51	146
それ以外	310	83	393
合計	405	134	539

※昨年度551名

推薦依頼状

参議院

岡山選挙区

候補者

小林孝一郎

来る第二十七回参議院議員通常選挙は、混迷を深める世界情勢の中で法の支配に基づく国際秩序や我が国の平和と安全を堅持し、人口減少に伴う地域や経済の活力の低下を食い止めつつ日本全体の活力を取り戻すとともに、激甚化する災害や凶悪化する犯罪から国民の安心・安全を守り抜くための極めて重要な選挙です。自由民主党は、国民政党としての原点に立ち返り、国民の皆様の声に、謙虚に、真摯に、誠実に向き合い、国民の政治への信頼を回復すべく改革を断行するとともに、山積する内外の課題解決に向け、強力に取り組んでまいります。

つきましては、この参議院選挙の候補者として、右の者を自信と責任を持って公認いたしましたので、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。

令和七年

月

日

自由民主党総裁

石破

茂



殿

第27回参議院議員通常選挙 選挙区選出議員選挙 候補予定者

自由民主党
令和6年12月26日

○公認

合計 34選挙区 公認 36名(現 27名、元 2名、新 7名)

	選挙区	定数	公認候補者	生年月日	年齢	区分	経歴
1	北海道	3	岩本 剛人	昭和39年10月19日	60	現	1期
2			高橋 はるみ	昭和29年1月6日	70	現	1期
3	青森	1	滝沢 求	昭和33年10月11日	66	現	2期
4	宮城	1	石川 光次郎	昭和42年6月26日	57	新	元宮城県議会議員(6期)
5	秋田	1	中泉 松司	昭和54年5月7日	45	元	1期
6	山形	1	大内 理加	昭和38年3月22日	61	新	元山形県議会議員(4期)
7	福島	1	森 まさこ	昭和39年8月22日	60	現	3期
8	茨城	2	上月 良祐	昭和37年12月26日	62	現	2期
9	栃木	1	高橋 克法	昭和32年12月7日	67	現	2期
10	群馬	1	清水 真人	昭和50年2月26日	49	現	1期
11	埼玉	4	古川 俊治	昭和38年1月14日	61	現	3期
12	千葉	3	石井 準一	昭和32年11月23日	67	現	3期
13			豊田 俊郎	昭和27年8月21日	72	現	2期
14	東京	※6	武見 敬三	昭和26年11月5日	73	現	5期
15	神奈川	4	脇 雅昭	昭和57年4月24日	42	新	元神奈川県産業労働局長
16	新潟	1	中村 真衣	昭和54年7月16日	45	新	スイミングアドバイザー
17	富山	1	堂故 茂	昭和27年8月7日	72	現	2期
18	福井	1	滝波 宏文	昭和46年10月20日	53	現	2期
19	山梨	1	森屋 宏	昭和32年7月21日	67	現	2期
20	静岡	2	牧野 たかお	昭和34年1月1日	65	現	3期
21	愛知	4	酒井 庸行	昭和27年2月14日	72	現	2期
22	三重	1	吉川 ゆうみ	昭和48年9月4日	51	現	2期
23	滋賀	1	宮本 和宏	昭和47年3月7日	52	新	元守山市長(3期)

	選挙区	定数	公 認 候 補 者	生年月日	年齢	区分	経 歴
24	京 都	2	にしだ しゅうじ 西田 昌司	昭和33年9月19日	66	現	3期
25	兵 庫	3	かだ ひろゆき 加田 裕之	昭和45年6月8日	54	現	1期
26	奈 良	1	ほり い いわお 堀井 巖	昭和40年10月22日	59	現	2期
27	岡 山	1	こばやし こういちろう 小林 孝一郎	昭和52年8月8日	47	新	元岡山県議会議員(3期)
28	広 島	2	にしだ ひでのり 西田 英範	昭和56年8月3日	43	新	元経済産業省課長補佐
29	山 口	1	きたむら つねお 北村 経夫	昭和30年1月5日	69	現	3期
30	香 川	1	みやけ しんご 三宅 伸吾	昭和36年11月24日	63	現	2期
31	福 岡	3	まつやま まさじ 松山 政司	昭和34年1月20日	65	現	4期
32	佐 賀	1	やました ゆうへい 山下 雄平	昭和54年8月27日	45	現	2期
33	熊 本	1	ばば せいし 馬場 成志	昭和39年11月30日	60	現	2期
34	大 分	1	しらおか あき 白坂 壺紀	昭和41年7月20日	58	現	1期
35	宮 崎	1	ながみね まこと 長峯 誠	昭和44年8月2日	55	現	2期
36	鹿児島	1	そのだ しゅうこう 園田 修光	昭和32年3月13日	67	元	1期

※東京は非改選議員の「補欠選挙(任期3年)」も合併して施行されるため、当選者が7人となる。

会員の入会の承認について

地 域	商号または名称	代表者氏名	所在地
岡山西	(株)三協クリエイト	問田 明弘	岡山市北区今2丁目9番30号
西大寺	(株)光南溶工	山本 誠	岡山市東区九幡1119－15
西大寺	(株)前田開発	川村 耕児	瀬戸内市長船町福岡560－16

会員の変更の承認について

(会長専決)

地 域	商号または名称	変更事項	旧	新
岡山西	岸本建設(株)	代表者	岸 本 浩 二	岸 本 三七吉
吉 備	(株)エンスイ工業	代表者	田 村 忠 之	難 波 佳 代
笠 岡	(株)コウケン	所在地	笠岡市生江浜946	笠岡市東大戸990-2
新 見	神郷建設(株)	代表者	内 田 一 隆	内 田 真 之
新 見	西村工業(株)	代表者	西 村 雅 春	三 上 晴 久
津 山	(株)勝浦建設工業	代表者	勝 浦 正 彦	勝 浦 允 太
津 山	西日本建設(株)	代表者	政 岡 渡	政 岡 隆
美 作	(株)美作土建	代表者	則 本 孝	則 本 孝 洋
美 作	森安建設(株)	代表者	馬 場 照 幸	角 田 直 行
建 部	アサヒ防災工事(株)	代表者	結 石 公 裕	大 原 賢 二
建 部	(有)山崎工務店	代表者	山 崎 巖	山 崎 慎太郎

令和 6 年 11 月 6 日

一般社団法人岡山県建設業協会

会 長 荒 木 雷 太 殿

一般社団法人岡山県建設業協会

岡山西地域担当理事 蜂谷泰祐

一般社団法人岡山県建設業協会の協議員会規程第 2 条第 2 項により、下記の者を協議員の候補として推薦する。

記

氏 名	所属（商号又は名称）
宮西司郎	協立土建（株）

(様式)

令和7年 2月13日

一般社団法人岡山県建設業協会
会 長 荒 木 雷 太 殿

一般社団法人岡山県建設業協会
吉備地域担当理事 井上量

一般社団法人岡山県建設業協会の協議員会規程第2条第2項により、下記の者を協議員の候補として推薦する。

記

氏 名	所属（商号又は名称）
延武 英行	株式会社オカジュウ

一般社団法人 岡山県建設業協会
会長 荒木 雷太 殿

一般社団法人 全国建設業協会
会 長 今 井 雅 則

昭和百年記念昭和天皇記念館大規模刷新・維持事業への
寄附金についてご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より全建の活動に対しご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、この度、公益財団法人昭和聖徳記念財団より別添のとおり昭和百年記念事業として、国営昭和記念公園（東京都立川市）内にある昭和天皇記念館の展示内容の大規模刷新等のための寄附をお願いしたい旨依頼がありました。

本事業につきましては、経済界全体で支援していこうとの動きとなっており、（一社）日本経済団体連合会、日本商工会議所及び（公社）経済同友会からも当会に対し協力をお願いされております。

貴協会及び貴協会の会員各位におかれましては、本事業の趣旨をご理解のうえ可能な範囲でご協力をいただければ大変ありがたく存じます。

寄附の単位につきましては、個人一口 1,000 円、法人一口 10,000 円となっており、申込み及び寄附の実施は（公財）昭和聖徳記念財団のホームページ（<https://f-showa.or.jp/>）から直接お願いいたします。

なお、本事業への寄附金については、申告により税法上の優遇措置を受けることが可能となっております（個人：支払った年分の所得控除として寄附金控除、法人：「特定公益増進法人」に対する寄附金として損金算入。別添パンフレットを参照。）。

また、高額寄附者（個人 100 万円以上、法人 500 万円以上）の方々は、昭和天皇記念館内の銘板等にご芳名を記入し末永く顕彰されます。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

(様式)

昭和百年記念昭和天皇記念館大規模刷新・維持事業への寄附の報告について

協会名：

令和7年6月末時点

会員等名称	金額及び口数	備 考

(様式、記入例)

昭和百年記念昭和天皇記念館大規模刷新・維持事業への寄附の報告について

協会名：(一社) ○○県建設業協会

令和 7 年 6 月末時点

会員等名称	金額及び口数	備 考
(一社) ○○県建設業協会	50,000 円 (法人 5 口)	
○○建設 (株)	30,000 円 (法人 3 口)	
全建太郎 ((株) ○○組社長)	5,000 円 (個人 5 口)	

一般社団法人岡山県建設業協会陳情への
回答書

令和7年2月
岡山県土木部

目 次

1. 予算確保に関する事	1	～	5	(12) 入札参加業者の選定基準
(1) 各種予算確保				(13) 共同企業体方式
(2) 災害復旧関連予算				(14) 随意契約枠の拡大
(3) 着手時期に見合った予算確保				(15) 工事前払金の見直し
2. 入札制度等に関する事	6	～	37	(16) 落札者の早期決定
(1) 市町村への指導				(17) 工事費内訳書
(2) 最低制限価格率等の引上げ				(18) 入札の公明性
(3) 一般競争（総合評価落札方式）				(19) 電子入札共同利用システム
(4) 追加工事の契約				(20) 設計・施工一括発注方式（DB 方式）の見直し
(5) 発注の平準化				(21) 施工実績の見直し
(6) 地域性の考慮				(22) 建設リサイクル届出書類の見直し
(7) 協会員への優遇措置				(23) 契約書第 3 1 条「不可抗力による損害」について
(8) 不適格業者の排除				
(9) くじによる落札者決定				
(10) チャレンジ型入札				
(11) 指名競争入札の見直し				
3. 担い手の確保に関する事	38	～	50	
(1) 担い手の確保に向けた取組				
(2) 週休 2 日制工事の拡大促進				
(3) 建設キャリアアップシステム				
(4) 働き方改革				

4. 設計積算に関する事	51	～	91	5. 工事監理に関する事	92	～	106
(1) 設計単価と実勢単価の乖離				(1) 書類の簡素化			
(2) 物価スライド				(2) 現場監督員等の改善			
(3) 現地状況に合致した設計・積算				(3) ICT 工事			
(4) 設計積算等の適正化				(4) 情報共有システムの活用促進			
(5) 実施工に合った設計変更				(5) 工事成績評価基準の見直し			
(6) 歩掛の見直し				(6) 監理技術者制度改正への対応			
(7) 適正な工期設定				(7) 緊急対応時の提出書類書式整備			
(8) コンサルタント会社の責任				(8) 追加工事の契約単価			
(9) 地元調整				(9) 1 件あたりの工事件数			
(10) 電子入札システム							
(11) 見積採用単価の公表				6. その他事業に関する事	106	～	110
(12) 小規模工事の積算方式				(1) CPDS			
(13) 現場環境改善費				(2) 緊急時の管理者責任			
(14) 積算基準の見直し				(3) パトロール業務委託			
(15) 仮設計画を考慮した発注				(4) 季節を考慮した発注			
				(5) Pca 製品開発への要望			
				(6) 新技術・新工法の採用			

令和7年度 陳情スケジュール

R 7			役員会等	技術研究委員会・各支部	内容等
1月15日	(水)	13:30～	[正副会長会]		令和7年度陳情スケジュールについて
2月12日	(水)		「県からの回答書」を受領		
2月13日	(木)		「県からの回答書」を周知		「県からの回答書」をホームページ会員専用ページに掲載
2月20日	(木)	11:00～	[技術研究委員会合同会議]	■ 陳情スケジュール等説明	(岡山プラザホテル)
2月20日	(木)	13:30～	[正副会長会]		「令和7年度陳情スケジュール」を資料として提示
2月27日	(木)	13:30～	[理事会]		令和7年度陳情シートの説明 ■ 支部での取りまとめを依頼
〃				■ 陳情シート配付	本部から支部を通じて会員へ配付

陳情シート 作成・回収・趣旨確認・取りまとめ・投稿 ～5月30日

4月11日	(金)		陳情シート【回収期限】	支部・委員の連携	〈支部〉	■ 「陳情シート」回収、支部役員に提出
4月17日	(木)	14:00～	[正副会長会]		〈支部役員〉	■ 支部役員で協議、修正
4月24日	(木)	14:00～	[理事会]		〈委員〉	■ 趣旨・内容・項目等の確認・仕分け (同じ内容はまとめる、反するものは両論併記にする、内容についての趣旨確認、誤字脱字訂正)
					「支部最終版」取りまとめ	■ 支部役員会等で協議し「最終版」として取りまとめていただく
5月30日	(金)		メーリングリスト【投稿期限】			陳情シート「最終版」を支部ごとにメーリングリストに投稿する (締め切り後の追加申請はないようにする)

陳情項目・形式取りまとめ ～7月17日

R 7		役員会等	技術研究委員会・各支部	内容等
6月 2日 (月)			・陳情項目振分け(国・県)	建設会館2階役員室(専務)
6月10日 (火)			・委員長・副委員長・各副部会長に陳情項目振分け(案)をメール送信	国・県の仕分け、表現方法・誤字等を修正していただく
6月20日 (金) 13:30～			・「陳情書(案)」の精査(国・県)	建設会館2階役員室 (委員長・副委員長・各副部会長・専務・局長)
6月27日 (金)			・会長に答申(国・県)	答申後、修正
7月 4日 (金)			・修正後の「陳情書(案)」(県)をメーリングリストに投稿	修正等がある場合は、7月17日までにメーリングリストに投稿
7月17日 (木)		支部・委員からの追加・修正【受付期限】		
7月18日 (金)		理事に「陳情書(最終版(案))」(国・県)を送付		修正等がある場合は、7月31日までに本部事務局にご連絡いただき、まとめたものを8月5日の正副会長会へ提出
7月31日 (木)		理事からの追加・修正【受付期限】		
8月 5日 (火) 13:30～		[正副会長会]		「陳情書(案)」(国・県)確認・協議
8月20日 (水) 13:30～		[理事会]		「陳情書(案)」(国・県)承認
〃			▪ 「陳情書(最終版)」をホームページに掲載	
8月29日 (金) 16:30～		[岡山県との意見交換会]	▪ 「令和7年度陳情書」を岡山県に提出	(岡山プラザホテル)

令和7年度 陳情・要望等タイムスケジュール

陳情先	陳情日	2月～7月			8月			9月	10月	11月
岡山県土木部 意見交換会	【8月29日】	2月27日～4月11日  会員への陳情シート 作成依頼・回収 [支部]	4月14日～5月30日  陳情シート「支部最終版」 の取りまとめ、投稿 [支部役員・技術研究委員]	6月2日～7月17日  「陳情書(案)」 の取りまとめ [技術研究委員会] 会長へ答申(6月27日)	5日 正副会長会 (協議)	20日 理事会 (承認)	29日 県土木部と協会役 員との意見交換会 (陳情書の趣旨説明)			
中国地方整備局 意見交換会	【9月下旬】							9月下旬 中国地方整備局 意見交換会		
全 建 中国ブロック協議会	【10月中旬】 (山口県)							9月上旬 中国B協議会 陳情書提出	10月中旬 中国B協議会 意見交換会	
県議会、自民党県連	【11月14日】									11月14日 陳情書提出

令和7年度 陳情シート

〔陳情項目〕

① 予算の確保

項目を選択してください。

※該当しない場合は、該当なしを選択して項目をご記入ください。

〔申請者〕 _____ 支部

〔趣旨確認先〕 会社名

担当者

TEL _____ (携帯も可)

1. 困りごと・要望 (要望は1件につき1シートに記入してください)

2. 具体的な対策 (実現可能な提案をお書きください)

【委員記入欄】

項目確認：□修正なし

：□修正あり ○ () _____

▪ 趣旨確認内容等

令和7年度 陳情シート

〔陳情項目〕

② 入札制度等

項目を選択してください。

※該当しない場合は、該当なしを選択して項目をご記入ください。

〔申請者〕 _____ 支部

〔趣旨確認先〕 会社名

担当者

TEL _____ (携帯も可)

1. 困りごと・要望 (要望は1件につき1シートに記入してください)

2. 具体的な対策 (実現可能な提案をお書きください)

【委員記入欄】

項目確認：□修正なし

：□修正あり ○ () _____

▪ 趣旨確認内容等

※電子データでの提出をお願いいたします

令和7年度 陳情シート

〔陳情項目〕

③ 担い手の確保

項目を選択してください。

※該当しない場合は、該当なしを選択して項目をご記入ください。

〔申請者〕 _____ 支部

〔趣旨確認先〕 会社名

担当者

T E L _____ (携帯も可)

1. 困りごと・要望 (要望は1件につき1シートに記入してください)

2. 具体的な対策 (実現可能な提案をお書きください)

【委員記入欄】

項目確認：□修正なし

：□修正あり ○ () _____

▪ 趣旨確認内容等

※電子データでの提出をお願いいたします

令和7年度 陳情シート

〔陳情項目〕

④ 設計・積算

項目を選択してください。

※該当しない場合は、該当なしを選択して項目をご記入ください。

〔申請者〕 _____ 支部

〔趣旨確認先〕 会社名

担当者

TEL _____ (携帯も可)

1. 困りごと・要望 (要望は1件につき1シートに記入してください)

2. 具体的な対策 (実現可能な提案をお書きください)

【委員記入欄】

項目確認：□修正なし

：□修正あり ○ ()

▪ 趣旨確認内容等

※電子データでの提出をお願いいたします

令和7年度 陳情シート

〔陳情項目〕

⑤ 工事監理関係

項目を選択してください。

※該当しない場合は、該当なしを選択して項目をご記入ください。

〔申請者〕 _____ 支部

〔趣旨確認先〕 会社名

担当者

TEL _____ (携帯も可)

1. 困りごと・要望 (要望は1件につき1シートに記入してください)

2. 具体的な対策 (実現可能な提案をお書きください)

【委員記入欄】

項目確認：□修正なし

：□修正あり ○ ()

■ 趣旨確認内容等

※電子データでの提出をお願いいたします

令和7年度 陳情シート

〔陳情項目〕

⑥ その他事業

項目を選択してください。

※該当しない場合は、該当なしを選択して項目をご記入ください。

〔申請者〕 _____ 支部

〔趣旨確認先〕 会社名

担当者

TEL _____ (携帯も可)

1. 困りごと・要望 (要望は1件につき1シートに記入してください)

2. 具体的な対策 (実現可能な提案をお書きください)

【委員記入欄】

項目確認：□修正なし

：□修正あり ○ () _____

▪ 趣旨確認内容等

※電子データでの提出をお願いいたします

① 予算確保に関すること
(1) 各種予算確保
(2) 災害復旧関連予算
(3) 着手時期に見合った予算確保
② 入札制度等に関すること
(1) 市町村への指導
(2) 最低制限価格率等の引上げ
(3) 一般競争（総合評価落札方式）
(4) 追加工事の契約
(5) 発注の平準化
(6) 地域性の考慮
(7) 協会員への優遇措置
(8) 不適格業者の排除
(9) くじによる落札者の決定
(10) チャレンジ型入札
(11) 指名競争入札の見直し
(12) 入札参加業者の選定基準
(13) 共同企業体方式
(14) 随意契約枠の拡大
(15) 工事前払金の見直し
(16) 落札者の早期決定
(17) 工事費内訳書
(18) 入札の公明性
(19) 電子入札共同利用システム
(20) 設計・施工一括発注方式（DB方式）の見直し
(21) 施工実績の見直し
(22) 建設リサイクル届出書類の見直し
(23) 契約書第31条「不可抗力による損害」について

陳 情 項 目

③ 担い手の確保に関すること
(1) 担い手の確保に向けた取組
(2) 週休2日制工事の拡大促進
(3) 建設キャリアアップシステム
(4) 働き方改革
④ 設計積算に関すること
(1) 設計単価と実勢単価の乖離
(2) 物価スライド
(3) 現地状況に合致した設計・積算
(4) 設計積算等の適正化
(5) 実施工に合った設計変更
(6) 歩掛の見直し
(7) 適正な工期設定
(8) コンサルタント会社の責任
(9) 地元調整
(10) 電子入札システム
(11) 見積採用単価の公表
(12) 小規模工事の積算方式
(13) 現場環境改善費
(14) 積算基準の見直し
(15) 仮設計画を考慮した発注

⑤ 工事監理に関すること
(1) 書類の簡素化
(2) 現場監督員等の改善
(3) ICT工事
(4) 情報共有システムの活用促進
(5) 工事成績評価基準の見直し
(6) 監理技術者制度改正への対応
(7) 緊急対応時の提出書類書式整備
(8) 追加工事の契約単価
(9) 1件あたりの工事件数
⑥ その他事業に関すること
(1) CPDS
(2) 緊急時の管理者責任
(3) パトロール業務委託
(4) 季節を考慮した発注
(5) Pca製品開発への要望
(6) 新技術・新工法の採用

令和7年度 土木部関係予算額

R 6年度11月補正(追加分) + R 7年度当初

予算額：約1,052億円

一般会計：約912億円

特別会計：約41億円

企業会計：約100億円

[一般会計]	義務的経費	約 56億円	
	一般行政経費	約 78億円	
	投資的経費	約777億円	(対前年度比105.3%)
	(内訳) 公共事業等	約586億円	(対前年度比107.3%)
	直轄負担金	約151億円	(対前年度比102.7%)
	災害関係	約 40億円	(対前年度比 88.9%)

[特別会計]	港湾整備事業	約 25億円
	その他	約 16億円

[企業会計]	流域下水道事業会計	約100億円
--------	-----------	--------

地方負担額ベースで前年同額+安全・安心な県土づくりに必要な額(国庫補助事業)

令和7年度当初予算公共事業費等 約418.6億円 (対前年度比112.0%)

- 補助公共 (国の予算を使う事業) 約203.4億円 (対前年度比126.8%)
- 単県公共 (緊急的に対応する県事業) 約47.1億円 (対前年度比100.5%)
- 単独公共 (補助公共と連携した県事業) 約93.4億円 (対前年度比 99.4%)
- 維持修繕 約74.7億円 (対前年度比103.2%)

※1 前年度 = R 5年度11月補正(経済対策分) + R 6当初

※2 四捨五入の関係で合計が合わないところがある。

4 岡山県の予算規模（事業費ベース）

令和7年度の公共事業予算については、当初予算額の約419億円に加え、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を活用した令和6年度11月補正予算約167億円（約40%）を加え、約586億円を予定している。

岡山県知事 伊原木 隆太 殿

緊 急 提 言

令和7年2月

一般社団法人 岡山県建設業協会

下水道管の緊急点検について

令和7年1月28日に埼玉県八潮市において、中川流域下水道の下水道管の破損に起因すると思われる陥没が発生し、埼玉県は下水道流域の12市町の約120万人に対して下水道の利用自粛を呼びかけるなど地域住民の生活に大きな影響が出る状況となっています。

このことを受け、国土交通省は、29日付けで全国の下水道管理者に対して、晴天時に1日あたり最大で30万トン以上の下水を処理できる大規模な処理場に接続している直径2メートル以上の下水道管について緊急点検するよう指示し、該当する埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫、奈良の7都府県が緊急点検を実施しています。また、それ以外の宮城県や岐阜県でも緊急点検を行うなど、全国的に下水道管の緊急点検が広がっています。

なお、下水道法では下水道管理者に対し、腐食のおそれの大きい下水道管路について、5年に1回以上の点検を義務づけており、当該箇所は、前回2021年の点検時には、直ちに工事が必要な状況ではなかったとのこと。

このことに鑑み、次のとおり提言しますので、速やかに対応されますようお願いいたします。

- 1 岡山県が管理する流域下水道事業で埋設している下水道管について、速やかに点検を行うとともに、補修等が必要な場合には早急に対応すること。
- 2 下水道管理者に対して、下水道管の陥没、破損の発生により、地域住民の生活に及ぼす影響が大きいと思われるものについて、速やかに点検するとともに、補修等が必要な場合には早急に対応するよう要請すること。

県、下水道緊急点検へ

「児島湖流域」管路20キ
ロ

埼玉陥没受け

埼玉県八潮市の県道交差点で道路が陥没した事故を受け、岡山県は4日、県が管理する児島湖流域下水道の管路を緊急点検する方針を明らかにした。県の下水道施設は児島湖流域下水道のみで、処理能力や管の口径は国が示した緊急点検の対象基準から外れているが、独自の判断でチェックに乗り出す。（26面関連）

定例記者会見で伊原木隆太知事が説明した。児島湖流域下水道は岡山、倉敷、玉野市と早島町にまたがる総延長20・2キロ。下水道法で義務付けられている5年に1度の点検で異常は見つかっていないものの、八潮市の事故が定期点検を行っていないことから発生したことを考慮して踏み切る。

岡山県によると具体的な点検箇所や着手の時期は検討中。下水道管が国道30号や県道岡山児島線といった主要幹線道の下を通っており、そうした地点を中心にカメラによる管の状態調査、路面の巡視を行うことを想定しているという。

伊原木知事は「下水道の老朽化はとても人ごとではない。義務ではないが速やかに点検する」と述べた。八潮市の事故は1月28日午前10時ごろ、地下約10メートルにある下水道管の破損が原因とみられている。

（信定佑紀）

津山、笠岡など 7市町自主点検方針

岡山県内では西粟倉村を除く26市町村に総延長約9500キロの下水道が巡らされ、それぞれ県と市町村が管理している。県によると、これまでに7市町が自主的な点検を行う方針を示している。

津山、笠岡、井原、

総社、新見、赤磐市と吉備中央町の7市町で、県の3日の聞き取りに点検を実施する意向を表明。県は同日、改めて下水道を管理する全26市町村に対し、管路やマンホールの状況のチェックを促す通知を出した。

埼玉県八潮市の陥没事

故を受け、国土交通省は都道府県が管理する流域下水道のうち、一定規模以上の管路などを持つ埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫、奈良の7都府県に対して緊急点検を要請。市町村管理の公共下水道は対象外としている。

（信定佑紀）

国交省

自治体の歩掛りを実態調査 「現場とかい離」の声踏まえ

国土交通省は、地方自治体による歩掛の設定状況の実態を初めて調査す

自治体工事の歩掛りに関する調査

どのような工事で独自の歩掛が必要になるのか

独自の歩掛りの作成方法

工事条件に応じた歩掛りの設定状況

どのような工事で「かい離」が起こるのか

る。自治体発注の工事では通常、国交省が公表している標準歩掛を設定しているが、直轄工事よりも小規模な現場が多く、実態とのかい離を指摘する声が建設業界から寄せられていた。自治体へのヒアリングやアンケートにより歩掛の設定状況を調べ、課題を把握する。国交省では、全国でのモニタリング調査や施工合理化調査により、施工実態を踏まえて標準歩掛を見直している。自治体

もこうした歩掛を準用しているが、ロットの大きな直轄工事を前提とした標準歩掛では、小規模工事に特有の手間などを反

映できず、結果的に予定価格が低くなるなど実態とのずれを指摘する声が受注者側から上がっていた。

そこで国交省は、自治体での歩掛の設定状況を調べることにした。都道府県では標準歩掛りに加えて、独自の歩掛を設けている例もある。一方、

市区町村は標準歩掛や都道府県の歩掛を準用して対応していると考えられる。ヒアリングやアンケートにより、自治体が直面している課題を分析、把握する。

調査では、▽どのような工事で独自の歩掛かりを作っているのか▽工事条件に応じた歩掛の設定状況▽歩掛のない作業について適切に見積もりを行っているか▽どのような工事で「かい離」が起こりやすいのかなどを調べる。自治体による独自の取り組みについて、好事例の把握・発信にもつなげたい考え。

合わせて、建設業界からもヒアリングを行うことを検討している。

全国中小建設業協会（全中建、土志田領司会長）が団体会員の傘下企業を対象として28年に行ったアンケートでは、市町村の予定価格が「適正でない」との回答が62%を占めた。要望として「歩掛を見直してほしい」との声が最も多かった。今年1月17日の理事会では、維持修繕工事や除雪など、小規模工事が今後増加するとし、小規模工事用の歩掛の見直しを求める要望書を決議している。

国交省 自治体の積算歩掛かり調査

実態と乖離指摘
独自設定など工夫収集

国土交通省は地方自治体発注工事の積算に用いる歩掛かりの実態調査に乗り出す。都道府県や市区町村が発注する工事は、工事規模などの施工条件が国交省直轄工事と異なるため、歩掛かりが現場実態と乖離（かいらい）しているとの声が地

域建設会社などから挙がっている。自治体へのアンケートやヒアリングを通じ、直轄工事の歩掛かりをそのまま準用するのではなく、独自の歩掛かりを設定したり、入札参加者の見積もりを活用したりする工夫事例を収集。現状を把握した上で、具体的に対処すべき課題を分析する。

2024年度補正予算で関連経費を新たに確保し、調査検討業務の民間委託先の選定作業を進めている。

直轄工事では施工合理化調査などの実態調査を踏まえ、標準的な施工条件に合った標準歩掛かりを設定している。自治体発注工事は一般的に直轄工事と比べて工事規模が小さいため、大ロットを前提とした直轄工事の歩掛かりがそぐわない可能性が高い。ガラ運搬を例にとると、大型トラックの使用を前提とした直轄工事と比べて、小型トラックの使用に限定される小規模な自治体発注工事ではスケ

ールメリットが生かせず施工効率が悪くなるとの指摘がある。

地域建設業界からは、自治体工事の多くで小規模工事に適用する歩掛かりが用意されていないと指摘する声もある。都道府県が直轄工事の歩掛かりを準用していると認識しないまま、それを準用する市区町村も多いと考えられ、現場実態と積算の不一致が固定化されている状況と言える。

調査では特に、独自の歩掛かりを設定する自治体の事例収集に取り組む。独自の歩掛かりの作成方法などを調べる。直轄工事などの歩掛かりを準用しつつ現場実態に合うかどうかを検証する仕組みを取り入れているケースや、小規模工事で見積もりを活用した積算を行っているケースなども探る。調査期間は25年度末まで。まずは現状把握を目的とした基礎調査との位置付けで、今後の政策的対応の方向性は決まっていない。

少額随意契約の基準額等について

財務省

2025年1月17日

(参考4) パブリックコメントで寄せられたご意見

- 令和6年11月18日から12月20日までの間、財務省ホームページ等において、少額随意契約の基準額に関する意見募集を実施。
- 106件の意見が寄せられ、約99%が少額随意契約の基準額の引上げに対して肯定的な意見であった。

パブリックコメントに寄せられた主なご意見

- 【賛成】人件費や材料費、燃料費など、10年前と比較しても全ての面でコストが上がっていることを考慮いただき、随意契約の基準価格を引き上げていただきたい。
- 【賛成】限度額については、中小企業の受注機会・受注額の増大を図る観点からも原材料費や人件費の上昇及び消費税等を勘案の上、現行の2倍以上（例えば、工事又は製造であれば、国等は250万円から500万円へ）に引き上げるよう、法制度の見直しを図る必要がある。
- 【賛成】現在の少額随意契約の上限金額は、過去40年以上にわたり変更されておらず、経済環境の変化を反映していない状態です。現行の上限金額では発注業務や受注機会において多くの制約が生じている状況であり、また、地方自治体においては、一般競争入札等が必要となる案件が多くなり、これに伴う発注者側の事務負担が増加しています。随意契約の対象範囲を拡大することで、発注業務の効率化を図ることができ、限られた人員で多くの案件を迅速に処理することが可能となります。
- 【賛成】地方公共団体の工事請負契約の場合、特に発注者においては市町村職員、受注者においては「地域の守り手」たる地場の中小零細土木業者の人手不足が顕著です。少額随意契約で発注される少額工事は、いわゆる手間のかかる雑工事的な工種も多く、労務費率が高いため、競争による原価低減の工夫の余地の低い工事がほとんどで、随意契約による場合も複数社から相見積もりを取るため、経済的妥当性も担保されていると考えます。
- 国や都道府県・政令市の工事の請負契約の場合、750万円、市町村では500万円ぐらいの設定だと受発注者ともに業務量の削減効果が大きいと考えます。
- 【賛成】物価及び人件費等の上昇に伴い随意契約金額を上げて頂きたい。但し、契約先が固定することにもなりかねず、3年に一度は入札によることの良いのではないのでしょうか。
- 【賛成】少額随意契約の基準額の引き上げについては賛成です。国における政策実行の効率化・質の向上という観点から、基準額引き上げに伴う政策実行までの期間の短縮、事務手続きの短縮が図られることで、より多くの必要な政策の実行と、有限である国家公務員皆さんのリソースの有効活用が図られるものと思っています。
- 【賛成】契約における競争性、透明性の確保の観点から、随意契約の基準額の引上げについて慎重に対応すべきとの意見もあるようですが、随意契約であっても複数業者から見積を徴して発注先を決めており、競争性、透明性は十分に担保されていると考えています。
- 【反対】税金を使っの契約事項は、入札が基本であり、随意契約の基準額は引き上げるべきではない。

対応方針（案）について

①少額随意契約の基準額について

- 企業物価指数の上昇等を踏まえ、現行の基準額を引き上げる。

②少額随意契約の適切な運用の確保について

- 少額随意契約の適切な運用の確保のため、①内部監査による重点的監査の実施、②理由なく単一の見積りによっていた場合における一般競争等の実施、③オープンカウンター方式の積極的活用の検討を柱とする事務連絡を各府省に対して発出する。

③次回以降の改定方法について

- 今後は、①物価指数の動向、②改定が国の契約全体に与える影響、③国の事務負担の状況等を総合勘案しつつ、適切に見直しの必要性を検討・判断することとする。

④地方自治体の契約について

- 地方自治体の契約法制については地方自治法等により規定されていることから、総務省に上記の取組みを伝達し、同様の検討の実施を働きかける。

会 務 報 告

令和 7 年 2 月 27 日（木）

〔報 告 事 項〕

< 令和 7 年 >

- (1) 1 月 28 日（火） おかやま建設企業ライブ
- (2) 2 月 3 日（月） 岡山県へ緊急提言
- (3) 2 月 6 日（木） 岡山保証事業審議会
- (4) 2 月 7 日（金） 土木学会誌座談会
- (5) 2 月 17 日（月） 岡山県防災会議
- (6) 2 月 17 日（月） 第 4 回労務費の基準に関する WG（事前打合せ）
- (7) 2 月 20 日（木） 技術研究委員会合同会議
- (8) 2 月 26 日（水） 第 4 回労務費の基準に関する WG

「けんざか氏を応援する会」について

◎4月30日(水)

- ・16:00～ 岡山県建設業協会備前地区

ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス

◎5月 1日(木)

- ・10:00～ 岡山県建設業協会備中地区

マービーふれあいセンター 1F さつきホール

- ・13:30～ 岡山県建設業協会美作地区

津山鶴山ホテル 2F 鶴の間

※ いずれも 100 人以上着席可能な部屋を予定しております。

事務連絡
令和7年2月10日

各都道府県建設業協会専務理事・事務局長 様

一般社団法人 全国建設業協会
専務理事 山崎 篤 男

けんざか茂範氏の政治活動への更なるご支援のお願い

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当会の業務運営につきましてご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、全国建設業協会では、地域建設業の発展に貢献していただいている
けんざか茂範氏の政治活動を応援しております。

この度、「けんざか茂範を後援する会」より、別添のとおり、けんざか茂範氏
の政治活動への更なるご支援のお願いがございました。

既に各協会の皆様には積極的なご支援をいただいているところではありますが、
現下のけんざか茂範氏の政治活動の拡大がたいへん厳しい状況を踏まえ、「未来
創生クラブ」への加入促進、ポスター掲示の推進とリーフレット等関連資料の配
付及びけんざか茂範公式 SNS の周知・登録等これまでの取組みの更なるご支援
を賜りますようお願い申し上げます。

なお、同氏の政治活動を拡大、浸透させるための有効な手立てやご要望等がご
ざいましたら、「けんざか茂範を後援する会」又は当会にご連絡をいただきます
よう併せてお願い申し上げます。

以上

令和7年2月10日

(一社) 全国建設業協会

会長 今井 雅則 様

けんざか茂範を後援する会

会長 陣内 孝雄

けんざか茂範の政治活動への更なるご支援のお願い

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素よりけんざか茂範の政治活動について、多大なるご支援を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。

ご案内の通り、建設業界から参議院へ職域代表として、佐藤のぶあき議員、足立としゆき議員の2名の議員を送り出して頂いております。両議員は公共工事設計労務単価の引上げ、担い手三法（品確法、建設業法、入契法）の改正、防災・減災、国土強靱化を中心とする公共事業予算の確保など、建設業界が直面する喫緊の課題解決や建設業の健全な発展に向け、政治の場において努力を重ねてこられました。

けんざか茂範は佐藤のぶあき議員から後継指名を受け、令和6年6月4日に貴協会今井会長様より推薦状を頂戴いたしました。おかげ様で7月25日に自由民主党から第27回参議院議員通常選挙・比例代表議員選挙の候補予定者として公認を頂きました。重ねて感謝申し上げます。

さて、自民党への逆風が厳しい状況下で、昨年末にけんざか茂範の国土交通省の先輩でもあり、多岐にわたり暖かくご指導頂いていた足立としゆき議員が急逝されました。その結果、建設業界の職域代表議員は今夏で引退を表明している佐藤のぶあき議員一人になってしまいました。このような中、けんざか茂範は足立としゆき議員のご遺志も継承して建設産業の発展のために、現在全力で政治活動を続けておりますが、政治活動の拡大がたいへん厳しい状況にあります。

このため、下記の活動等も含めこれまでの取組みの更なる強化をお願い申し上げます。

1. 「未来創生クラブ」への加入促進(特にご紹介名簿による登録促進)と会合への招請

すでに貴協会におかれましては、けんざか茂範後援会ホームページ (<https://kenzaka.jp/member/>) や「ご紹介名簿」(紙媒体) を活用した会員の加入を進めて頂いておりますが、会合等多くの皆様が集まる機会をご活用頂き「ご紹介名簿」(紙媒体) を配布、参加されている方々にご記入頂くなど、会員登録の一層の促進についてご協力をお願いします。※「未来創生クラブ」は会費無料です。

ご記入頂いた「ご紹介名簿」は各都道府県建設業協会毎に集約頂き、集まった分から集計の上「けんざか茂範を後援する会」事務局に順次お送り頂きますようお願いいたします。

また、各都道府県建設業協会主催の集会や関連の会合などの際に、けんざか(または代理人)を招請いただき、けんざかの主張をご説明させて頂く機会の提供をお願いいたします。

2. ポスター掲示の推進とリーフレット等関連資料の配布

けんざか茂範の名前をより一層知って頂くため、ポスターの掲示、リーフレット、千社札(シール)やけんざか茂範 SNS カードの配布に引き続き積極的にご協力下さいますようお願いいたします。

3. けんざか茂範 公式 SNS の周知・登録について

けんざか茂範の公式 SNS (Facebook, Instagram, Youtube, LINE) を開設しております。下記の QR コードや、けんざか茂範 SNS カードを活用しつつ、公式 SNS の周知・登録についてご協力をお願いします。



※ 政治活動のための資料(ポスター、リーフレット、千社札(シール)、けんざか茂範 SNS カード)のご用命がある場合は必要部数を以下にご連絡頂ければ幸いです。

けんざか茂範後援会

副代表 奥村康博

事務局長 長尾純二

TEL: 03-6265-6744

FAX: 03-6265-6788

E-mail: info@kenzaka.jp



建設産業を元気に！！

しげ のり

けんざか茂範

自由民主党
参議院比例区支部長
(建設産業)

けんざか茂範を後援する会 (未来創生クラブ) ご紹介名簿

●ご本人のお名前

お名刺をお貼り頂いた場合は左欄の記載は不要です。

おなまえ	ふりがな	お名刺をお貼りください。
おところ	〒	
TEL	FAX	
メールアドレス		
企業団体名	所属グループ	

ご家族、ご親戚、お友達などを是非ご紹介ください。よろしくお願い申し上げます。

●ご紹介いただく方々のお名前 (会費不要)

おなまえ	ふりがな	(貴方とのご関係) 家族・親族・友人 ()
おところ	〒	メールアドレス
TEL		FAX
おなまえ	ふりがな	(貴方とのご関係) 家族・親族・友人 ()
おところ	〒	メールアドレス
TEL		FAX
おなまえ	ふりがな	(貴方とのご関係) 家族・親族・友人 ()
おところ	〒	メールアドレス
TEL		FAX
おなまえ	ふりがな	(貴方とのご関係) 家族・親族・友人 ()
おところ	〒	メールアドレス
TEL		FAX

この名簿を下記の FAX までご送信ください。又はご紹介名簿を下記のメールアドレスにご送信下さい。

FAX 03-6265-6788 info@kenzaka.jp

いただいた個人情報 は後援会活動にのみ使用し、 第3者に開示することはありません。

裏面もごさいます。

けんざか茂範のりを後援する会 ご紹介名簿

(未来創生クラブ) つづき

●とりまとめ役様のお名前 (お手数をおかけしますが再度お名前をお書きください。)

おなまえ

●ご紹介いただく方々のお名前

おなまえ	ふりがな	(貴方とのご関係) 家族・親族・友人 ()
おとこ	〒	メールアドレス
TEL FAX		
おなまえ	ふりがな	(貴方とのご関係) 家族・親族・友人 ()
おとこ	〒	メールアドレス
TEL FAX		
おなまえ	ふりがな	(貴方とのご関係) 家族・親族・友人 ()
おとこ	〒	メールアドレス
TEL FAX		
おなまえ	ふりがな	(貴方とのご関係) 家族・親族・友人 ()
おとこ	〒	メールアドレス
TEL FAX		

参議院比例代表制度のご説明

1

枚

目

都道府県選挙区は

候補者名で

投票します。

2

枚

目

比例代表 (全国区) は

全国どこからでも候補者の名前、又は政党名で投票頂けます。

候補者名の投票数に応じて

順位が上がります。

投票箱

ご協力ありがとうございます。